



令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果から

校長 清水 一司

9月2日に実施した文化祭、16日に実施した体育祭には、多くの保護者、地域の皆様にご来校いただきました。文化祭、体育祭ともに、生き生きと躍動する本校生徒の姿をご覧いただくことができたのではないかと考えております。お忙しい中を本校にお運びいただいたことに心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

本年4月に、全国の中学校3年生を対象に実施された「令和5年度全国学力・学習状況調査」の調査結果が、先日、文部科学省から提供されました。すでに報道等でご案内のとおり、さいたま市の中学校3年生は、今回調査のあった国語、数学、英語のいずれも、市の平均正答率が全国20政令市の1位となり、全国トップレベルの学力をもっていることが判っております。この調査において、本校3年生は国語、数学、英語のいずれも極めて良好な成績を収めております。この調査では、教科ごとに学習指導要領の内容・領域別、評価の観点別にも学力・学習状況の結果が提供されています。本校3年生は、学習指導要領の全ての内容・領域別、評価の観点別結果においても極めて良好な成績を収めております。

前回、令和4年度に実施した全国学力・学習状況調査（国語、数学、理科で実施）でも、本校生徒（昨年度の3年生）の高い能力が証明されていましたが、国語における自分の考えを表現する力、数学におけるグラフを用いて説明する問題の無回答率の高さ、理科におけるエネルギー領域で物体に働く重力とつり合う力を説明する力、等に課題があることが明らかになっていました。そこで本校では、昨年度の2学期以降、自分の考えを述べたり、言葉や数を用いて表現したりする活動に重点的に取り組むことを全教員で共有し、指導方法の工夫改善に取り組んでまいりました。具体的には、あらゆる授業で多くの発表の機会を設け、自分の考えを自分の言葉で語る経験を繰り返させてきました。この取組により、昨年度の調査で課題が見られた部分が改善し、今回の結果につながることができたと考えております。

一方で、数学の図形領域で知識理解にまだ伸び代が認められるなど、新たな課題も見えてきました。今回の調査で明らかになった課題に対しては、具体策をもって当たっていきます。

さて、文化祭では、国語科プレゼンテーション、英語弁論、ニュージーランド研修報告、桜木SHOWで発表する姿から、また、体育祭では、フィールド一杯に躍動する姿や互いに励まし合う姿から、本校生徒の高い表現力をご確認いただけたものと思います。この生徒の具体的な姿も、本校が取り組んできた指導方法の工夫改善の成果ととらえております。今後も、本校生徒の学力向上の

ために、全教職員あげて指導方法の工夫改善に努めてまいります。